

平成26年6月20日

食肉等の生食に関する対応について（案）に対する修正意見

一般社団法人 日本フードサービス協会  
加藤 一隆

「食肉等の生食に関する対応について（案）」9頁

5. 今後行うべきリスクコミュニケーション、その他留意すべき事項  
8行目、「なお、既に規格基準が設定されている牛肝臓については、」の  
部分を、次に修正されたい。

[ 修正案 ]

「なお、既に制定されている生食用食肉（牛肉）等に関する規格基準に  
についても、食肉等の関連事業者の取組や食肉の衛生管理に関する新たな  
知見に応じて必要な見直しを行うとともに、」

[ 理 由 ]

「食肉等の生食に関する調査会」の役割は、「消費者の認識や食肉等の  
関連事業者の取組等も踏まえつつ、公衆衛生上のリスクの大きさに応じた  
規制のあり方」について検討するものであり、新たな規制のあり方を検  
討するとともに、既にある規制についても必要なレビューを行うことが  
求められる。

この場合、実験的なリスクの再現ではなく、と畜から消費者に提供さ  
れるまで、食肉流通の各段階における衛生管理の実情を踏まえたリスク  
を客観的に評価する必要がある。